

建設通信新聞

長)は2023年2月7日、実務者向けセミナー「地域に根ざしたUAV計測の利活用事例」を開く。東京会場での対面集合形式とウェブ会議システムによるオンライン方式のハイブリット開催となる。

今回のプログラムは、UAV(無人航空機)計測技術の最新動向に加え、これを地域で生かすための視点、UAVを活用した農業水利施設の日常管理、地域特性に合わせた複合的測量、モニタリングから災害対応までの利活用事例を中心に構成した。

測量・地理空間情報分野の技術者や企業経営者、管理者などの実務者を対象に、協会認定講師らが情報提供する。

時間は午前10時から午後5時まで。会場は東京都港区の品川フロントビルで定員は150人。オンライン方式(リアルタイム配信)は400人が受講できる。受講料は無料。資料代は会場受講者が同協会と都道府県測量設計業協会の会員、測量計画機関の職員は無料。それ以外の希望者は2000円。オンライン受講者は同協会会員が2000円、それ以外の希望者は4000円(ともに送料込み)となる。申込締切日は23年1月24日まで。

2月7日に実務者向けセミナー

日測協

日本測量協会(清水英範会

問い合わせは、同協会測量継続教育センター測量技術教育部・電話03-5684-3355、電子メール(real-tim@jsurvey.jp)。